



ウィズ環境(株)新年会

ウィズ環境の新年会といえば恒例のボーリング大会ですが、今回は「ONE TEAM」をテーマにチーム戦で盛り上がりました。部署を越えた1チーム4人での対抗戦。普段話す機会の少ない人ともハイタッチや笑顔が飛び交う和気藹々とした場になりました。その後は場所を移して懇親会。社長より昨今の廃棄物情勢や、その中でウィズ環境としてどう取り組んでいくかなどを含めて、昨年以上にお客様に必要とされる会社作りを目指そうという思いを社員全員で共有しました。

また、今年の新年会では勤続20年超の3名への永年勤続表彰や結婚祝いなどがあり、さらに社長からのご祝儀争奪イベントも。終始賑やかで楽しい懇親会となりました。

『一年の計は元旦にあり』といいますが、ウィズ環境として最高のスタートを切れた新年会となりました。今年もウィズ環境をよろしくお願いいたします。



SDGs【世界を変えるための17の目標】

『持続可能な世界』と『より良い社会の実現』を目指したウィズ環境の取り組みをご紹介します。

現場内パトロールを実施

【SDGs-11・13 災害への備えと対応】

近年、突発的・局地的な異常災害が多くなっています。その中で台風や突風が起こった時の備えとして、現場敷地内の養生シートの点検と張り直しを行いました。近隣への飛散防止には常日頃から気を付けていますが、いつ起こるか分からないのが災害です。もちろん、災害の無い日常が一番ですが、急な災害時にも対応できるよう、日々のメンテナンスを大事にしていきたいと思います。



業務のシステム化

【SDGs-7・11・12 省エネ・リサイクルの推進】

昨年4月から社内SEを採用し、社内業務や外注業務の管理に関わるシステムの構築と運用を始めました。現在はデータの共有による業務改善とペーパーレスを目的とし、事務所とドライバーとが情報を共有することでよりスムーズにお客様への対応ができるようになりました。今後は急激に進んでいる技術革新により新事業としてのビジョンも見えてきます。クリーンBOXについてのお電話頂いてから出来るだけお待たせしない体制づくりを目指していきます。

処理場確認の実施

2月21日に2次委託先である「イーストコア」様と「旭興業」様へ処理場確認に伺いました。処分場確認とは、排出事業者が処理委託先の現地に伺い、委託した廃棄物が適正な処理が行われているかを確認する排出者の義務になります。新しい繋がりが各業者様へのサービス品質向上に繋がるものと考え、ウィズ環境はこれからも適正な処理について模索していきます。



モバイルバッテリー・電子タバコの廃棄に注意!

昨今、廃棄されたリチウムイオン電池の不適切な処理による火災が全国的に問題となっています。今まで鶴岡市ではモバイルバッテリー・電子タバコについては青色袋の「金属・その他」区分で処理していましたが、火災防止のため今後は「**蛍光管・乾電池**」の日に、**他のものと分けて廃棄すること**となりました。詳細は3月発行の鶴岡市環境誌「エコ通信」にも記載されております。今後モバイルバッテリー・電子タバコを廃棄する際は十分ご注意ください。